

薬品請求業務の見直し

～薬品の定数管理によるコスト削減効果～



チーム名 **みなおし隊**

内視鏡室

岡本 律恵

檜垣 年宏

中野 由紀

薬剤管理に関する問題点

- ➡ 1. 薬品の在庫が決められた定数より多い
- ➡ 2. 業務分担で薬品請求担当が決まっているが忘れることがある
(午前の胃カメラ・午後からの大腸カメラ・ERCP・心カテ・アンギオなど)
- ➡ 3. 請求忘れがある為、どうせ使うからと定数より多く請求する傾向がある
- ➡ 4. 薬品の期限切れチェックが出来ていない
- ➡ 5. 月末の薬品棚卸作業に時間がかかる



定数より多く請求された薬品



定数より多く請求された薬品

問題点の対策

1. 薬品請求業務の見直し

- ➡ 1. 薬品請求用紙を使用した請求システムから請求しなくても、薬品が補充されるシステムの考案
- ➡ 2. 現在内視鏡にある薬剤を薬品セットにするものと、薬品請求カードをつける薬品に分類
- ➡ 3. 薬品セットの作成
- ➡ 4. 薬品請求カードの作成

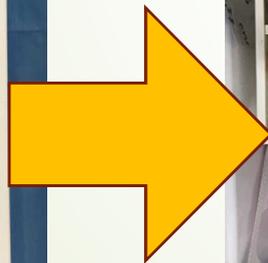
問題点の対策

2. 薬品定数の見直し

- ➡ 1. 定数より多くある薬品を薬剤部へ返品
- ➡ 2. 薬品セットを作成し薬品定数を変更
- ➡ 3. 1日の薬品使用数を1ヶ月調べ、薬品数を再度見直し
- ➡ 4. 薬品の薬価を調べ薬品在庫の金額の推移を調べる

対策の実施

薬品セットと請求カードの作成



薬品請求カードを
つけた薬品



対策の実施

薬品セットと薬品請求カードを使用した 請求システムの開始

- ▶ 1. 新システム運用のマニュアル作成し、薬剤部と連携
- ▶ 2. 薬品セットは1日使用後翌日薬剤部へ返品し新しいセットと交換
(薬品セットは2セット作成、内視鏡室と薬剤部で1セットずつ常備)
- ▶ 3. 薬品セットの補充、期限切れチェックは薬剤部が行う
- ▶ 4. 薬品請求カードは午後3時までに薬剤部へ返品、翌日朝内視鏡へ薬剤の払い出し



使用した薬品が請求用紙なしで補充される

対策の実施

薬品定数の見直し

- 1. 1日の薬品の使用数のチェックを行い定数の削減
 - 2. 期限切れ薬剤、使用していない薬剤の在庫廃止
- 今回の調査でミンクリアの期限切れが内視鏡室で1本、薬剤部で3本あったことが判明 また、薬剤部で期限の違う箱が2箱開封されていた



ミンクリアは内視鏡室
でしか使用しないため、
薬剤部・内視鏡施行医
師と相談し在庫使い切
り廃止とした

対策の実施

薬品定数の削減と1日の薬価の推移

- ➡ 1. 薬品定数にする前の在庫薬品の薬価 → 172,045.5
- ➡ 2. 薬品セット作成前の定数薬品の薬価 → 107,028.1
- ➡ 3. 薬品セット作成後の定数薬品の薬価 → 94,673.7
- ➡ 4. 1日薬品使用数調査後定数削減の薬価 → 68,773.3

1と4を比較すると内視鏡室で使用する1日の薬品定数の削減に伴い、薬価が¥103,272.2削減された

活動の結果と今後の課題

- 1. 薬品セットと薬品請求カードを使用することで 薬品請求をしなくても薬品が定数で補充できるようになり、業務の効率化ができた
- 2. 薬品が常に定数になるため薬品の棚卸業務が楽になった
- 3. 薬品セットの期限切れチェックを薬剤部で行なってくれるため、期限チェックの手間がなくなった
- 今回内視鏡室のみしか行えなかったもので、他の部屋も薬品定数の見直しを順次行なっていきたい